

第1回新居浜市政策懇談会第4ワーキンググループ（市民安全）会議 会議録

日時 令和元年12月3日（火）15時から16時55分

場所 新居浜市役所5階大会議室

出席者	座長	新居浜市連合自治会	日野 幸彦
	委員	新居浜市ボランティア連絡協議会	岡 熙美
	〃	新居浜市公民館連絡協議会	高田 実
	〃	新居浜地区防犯協会	久石 保
	〃	新居浜市消防団	山内 敏男
	〃	新居浜防災士ネットワーク	馬越 健
	〃	新居浜市PTA連合会	伊藤 義男
	〃	新居浜青年会議所	三木 悠司
	〃	にいほま女性ネットワーク	三股 智美
	〃	新居浜市国際交流協会	土井 美智子
	〃	新居浜交通安全協会	吉岡 敏高
	職員	市民部長	原 正夫
	〃	消防長	毛利 弘
	〃	市民部総括次長兼地域コミュニティ課長	長井 秀旗
	〃	市民部防災安全課長	竹林 栄一
	〃	市民部男女共同参画課長	松木 真吾
	〃	消防本部総務警防課長	中川 雅彦
	〃	企画部総括次長兼地方創生推進課長	佐薙 博幸
	〃	消防本部総務警防課主幹	後田 武
	〃	市民部地域コミュニティ課主幹	沢田 友子
	〃	企画部総合政策課まちづくり担当	藤井 隆嗣

発言者	内容
事務局	開会 新居浜市審議会等の公開に関する要綱に基づき公開とする旨 説明
原市民部長	あいさつ
事務局	座長紹介
座長	あいさつ

	<p><委員、事務局自己紹介></p>
座長	<p>本会議の進め方について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料に基づき説明</p>
座長	<p>ただいまの内容等について、ご意見、ご質問はありませんか。 <質疑なし></p>
座長	<p>ワーキンググループの検討内容について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料に基づき説明</p>
座長	<p>ただいまの説明で、ご意見、ご質問はありませんか。 <質疑なし></p>
座長	<p>ワークシートのたたき台の概略について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>交通安全、防犯、防災、消防、消費生活、男女共同参画、移住・定住の促進、地域コミュニティ、ボランティア、国際交流について説明</p>
座長	<p>ただいまの説明で、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
馬越委員	<p>防犯についてですが、ここには成人のことが書かれていますが、新居浜市は少年犯罪が多く、県下ワーストワンです。未成年者の犯罪が多いことを含んだ内容にしてほしいと思います。防災ラジオの助成金については、今年度も補助しているのか。</p>
事務局	<p>防災ラジオの購入については、今年度も引き続き助成しています。</p>
馬越委員	<p>防災について、飲料水のことが書かれていますが、今問題となっているのはトイレのことです。携帯トイレが1個100円くらいであるので、市が助成して家庭や自治会に配備できれば、トイレ問題はかなり解消できるのではないのでしょうか。</p>

事務局	<p>消費生活の解決金額とはどういうものかお聞きしたい。</p> <p>移住・定住の促進の奨学金助成事業は平成 26 年以降帰ってきた人から対象になると聞いているが、それは 26 年に制度ができたからなのか。</p> <p>少年犯罪については、おとしに比べると昨年は減少している。今年度の状況も含めてワークシートを作成したい。</p> <p>防災ラジオについては、普及に向けてしばらく助成を継続したいと考えている。トイレについては、マンホールトイレを設置する予定である。いろいろなものがあるので、どういったものがよいのか今後検討していく。</p> <p>消費生活について、あっせん件数とは、市の消費生活センターが消費者と業者の間にたって解決につながった件数があっせん件数で、解決金額は消費者トラブルで解決に導き、取り戻せた金額です。</p> <p>奨学金助成事業については、平成 28 年度から始めたものです。助成要件は、市内の中小企業等に就職または市内で企業、市内の第 1 次産業に従事し、1 年以上継続して雇用等された上で、奨学金返済後 1 年経過したとき返済した奨学金の一部を助成するものです。</p>
土井委員	<p>外国人に関することは、国際交流のシートにしか書かれていないが、新居浜市内に外国人は 1300 人くらい住んでおり、割合は人口の 1.8% くらいです。外国人にも防災が問題となってくるので、防災や他のシートにも外国人に関する記事を記載できないものか。</p>
事務局	<p>防災拠点施設の建設に合わせ通信指令システム 119 番通報も多言語通話について検討している。</p>
土井委員	<p>外国人が日本に来て最初に警察で防犯について学習する。そこで、防災や J アラート、地震の際にどうすればいいかなどの教育も一緒にできないか。外国人が防災について学習する機会があればいいなと思う。</p>
事務局	<p>最初にお話ししておけばよかったのであるが、今皆さんのお手</p>

	<p>元にあるワークシートは市で現況、課題をまとめたたたき台です。5次で取り組めたこと、取り組めなかったことを洗い出して、5次で取り組めなかったことを中心にまとめ、6次につなげたいと考えている。皆さんはそれぞれの分野の第一人者であるので、それぞれの現場での課題や意見を次回までにとりまとめていただき、皆さんの意見をシートに反映させたいと考えている。</p>
馬越委員	<p>避難所運営ゲームの中で外国人も出てくるが、言葉も通じない、文化も違うので、日本人と外国人の相互理解がないと避難所の運営は難しい。防災士でも考えるが、国際交流協会でもどうすればいいのか考えてほしい。</p>
座長	<p>これから何回か会議をして意見を出してもらおうが、現段階でこうしてほしいとか、よくわからないなどの意見があれば順番に発言してほしい。</p>
吉岡委員	<p>交通安全教室の開催回数とはどこが実施しているものか。</p>
事務局	<p>市の交通指導員が実施した交通安全教室の回数である。</p>
土井委員	<p>外国人児童の日本語教育が足りてないように感じている。小中学生の日本語教育のサポートについても入れてほしい。</p>
三股委員	<p>女性の視点も入れた避難先の環境についても考えてほしい。バリアフリーや赤ちゃんを連れた方の対応など、様々な立場の人のことを考えてほしい。</p> <p>消費生活活動をしている方が高齢化している。市のサポートがあれば活動に参加する人も増えるのではないか。</p> <p>移住してきた方に、自治会の案内をするなど、移住と地域コミュニティの関連についても入れてはどうか。</p>
三木委員	<p>男女共同参画について、イクボス宣言をした市職員の数が出ているが、企業もイクボスに取り組んでいる。育休・産休など企業が取り組みやすい体制づくりなど行政がバックアップしてくれるとありがたい。</p>

伊藤委員	<p>新居浜青年会議所でも婚活イベントを実施した。新居浜市の30代以上の婚姻率は県内でも高い。このあたりをアピールしてはどうか。またその後の妊娠、出産、子育てなどについてもバックアップを拡充してほしい。</p> <p>防犯カメラの設置について、公園に防犯カメラを設置したら、不良少年たちがたむろしなくなった。公共の施設だけでなく、一般にも防犯カメラがあれば子どもたちの安全が確保されるのではないか。一般家庭への防犯カメラの設置の助成もあればいいのではないか。</p> <p>防災の備蓄品の共有がされてないと感じている。市が指針を出して共有してほしい。また、各家庭での備蓄について、もっと啓発が必要であると思う。市の備蓄があるから大丈夫だと思っている人がいる。</p> <p>角野小学校の前の道路は以前も豪雨で通れなかった。学校は校長が災害時下校の指示を出す、校長は2〜3年で転勤する。校長や指示を出す人が地域の状況について認識する必要がある。子どもたちも防災に関して自分たちの地域のことを学ぶ時間があってもいいと思う。</p> <p>外国人の子どもに先生がかかりきりになり、教育の質の低下が懸念される。外国人の子どもが1校に偏らないよう、受け入れ先を検討したり、先生以外が日本語を教える体制も必要なのではないか。</p>
山内委員	<p>現在消防団員が60名程度不足しており、消防団員がいない単位自治会がある。自治会の協力を得て、足りない団員の追加をお願いしたい。別子山と大島は団員がゼロになるときがある。住民の初期消火訓練もしているが、大島は橋もなく、直ぐには行けないので検討してほしい。</p>
久石委員	<p>単位自治会の自主防災組織は毎年役員が変わるので活動できない。今後どうしていけばよいかのかが課題である。</p>
高田委員	<p>各校区で防災訓練を実施しているが、16年以降大きな災害が新居浜では起きていない。要援護者の防災意識が低いので、要援護者に防災訓練に参加者してもらいたい。行政も含めて努力し</p>

<p>岡委員</p>	<p>ないといけない。避難に関する警戒レベルが規定され、レベル3では高齢者の避難、レベル4は全員避難、レベル5はすでに災害が発生している状況となる、災害が起こった時に公民館にどれだけ受け入れできるのか。もう一つ踏み込んだ防災訓練を行政と一緒に考えなくてはいけない。尻無川があふれた時、公民館に避難できない場合は、近くの高い建物に一時避難するなどについても考えていきたい。</p> <p>ここに書かれている施策を充実させていってほしい。ボランティアに関しては、協働オフィスを中心に書かれているが、私の属する団体は総合福祉センターにあるボランティアセンターで活動している。ボラセンでもいろんな講座を開催したり、ボランティアを募集している。そちらのほうにも目を向けてもらえたらうれしい。ボランティア活動の後継者不足で若い人の参加が少ない。現在ボランティアに参加しているのは、高齢の女性が多い。もっと若い人に参加してもらえるようなシステムを作ってほしい。</p> <p>他の部会かもしれないが、垣生でイノシシがでて、犬の散歩をしている女性がけがをした。イノシシの目撃情報や土を掘り返したり、家に侵入したりする被害が出て困っている。なんとかしてほしい。</p> <p>免許を返納すると、特典があることは聞いているが、免許を返納できないのは足がなくなり、買い物に困るから。返納したけれど、生活に困ることもあるのは、課題に書かれているとおりである。</p>
<p>吉岡委員</p>	<p>防犯カメラに関して、西条では設置費用が不足しており、防犯協会の費用だけでは設置が難しいので、様々な会合で防犯カメラ設置費用の支援をお願いし、一口千円くらいの寄附の振込用紙を窓口に置かせてもらっている。防犯カメラは、設置費用、更新費用、電気代が必要となる。電気代については、設置してもらう店舗で負担してもらうよう依頼している。市もお金だけを出すのではなく、事業者や個人に働きかけをしてほしい。</p>
<p>久石委員</p>	<p>新居浜でも防犯協会がチラシを作成して、協力してもらうよう活動している。</p>

座長	6 次の計画に向けて、これから何回か会議をして意見を取りまとめます。どんどん意見や要望を出してください。
伊藤委員	今後も今日のようなやり方で全部を検討するのか。
事務局	市民安全に与えられたテーマごとにワークシートで現況、課題、取り組み状況、6 次の計画案について2月から3月を目途にとりまとめていきたい。
座長	基本的にはこのシートを土台にして6次をどうするか考えていただきたい。
伊藤委員	今日は話があっちこっちへ行って分かりにくかった。
座長	一つ一つ検討できればよかったが、時間が制約されてるのでこのようなかたちになってしまった。 この後3回くらいで、まとめなくてはならない。スムーズに検討できる会議にしていきたい。
馬越委員	6次は5次でできていないことを補足するという事で良いのか。 イノシシの件はどこの担当になるのか。
事務局	広報の部分はこの部会になるが、イノシシ被害の直接の担当は農林水産課になる。担当課と項目を追加する等協議したい。
座長	吉岡委員からテーマを絞って検討してはどうかとの提案があったので、1回の会議でワークシート3ページ程度を検討することとする。次回は交通安全・防犯・防災、消防、地域コミュニティの3シートについてみなさんのご意見をいただきたい。
事務局	次回は交通安全・防犯・防災、消防、地域コミュニティの3つのシートについて、現況、課題、取り組みたい施策について検討したいと思います。事前にご意見をだしていただいてもかまいません。

座長	<p>次回は、1 月の中旬くらいに開催したいと思います。日程調整表をお配りしておりますので、記入して事務局にご提出ください。</p> <p>口座振替依頼書とマイナンバー申告書についてもご提出をお願いします。</p> <p>以上で本日の会議を終了いたします。委員の皆様には長時間にわたる熱心なご審議をいただきまして、ありがとうございました。</p>
----	---